



2階から見る風景。三角屋根と新都心のビルが作り出す独特の景観。子どもたちは毎日この風景を見て生活する。



メディアセンター

コンピュータ室 + 図書室 + オープンスペース



DEN (デン)

ひみつの隠れ家。奥には何があるのかな。



読書空間

中学年 (3、4年生) のオープンスペース



ジャングルジム

低学年 (1、2年生) のオープンスペース

## 木の香かぐわし新校舎

海浜打瀬小学校が開校した。学校を核とした街作りを実践してきた打瀬小学校に続く、幕張ベイタウン二校目の小学校である。本誌では開校を間近に控えた3月22日、新小学校の設計者である櫻井 修氏に新小学校をご案内いただき、設計時の苦労話などを伺った。

海浜打瀬小学校を設計するに当たっては、既に高い評価を得ている打瀬小学校の文化を継承しつつも、新しい小学校の独自色を出すことに苦心をされたという。特に打瀬小学校では校舎というハードウェアが、教育というソフトを触発し、新しい教育文化を創りあげてきた実績がある。設計者としては新しい小学校でも、これからはじまる新しい学校の教育に刺激を与えるような建物でありたいと意気込んだそうで、その熱意は案内をしながらも熱っぽく語る、設計者櫻井氏の表情から十分に感じられた。

実際の設計では、教育現場の声を集め、既存のオープンスクール校の長所短所を検討した。特に児童との距離の取り方では、動線を工夫し、先生方が「静かに」考えられるスペースを確保した。これは子どもたちの生活空間についても同様で、高学年(5、6年生)棟には、畳敷きの落ち着いたプライベート空間も用意されている。熱気の打瀬小に落ちつきをプラスと言えば適当だろうか。

(次ページにつづく)



夢のステージ。中庭は打瀬小学校のアリーナから屋根をとった形に作られている。

校舎に入って第一に目につくのは木製の部分が多いこと、ドアや階段の手すり、窓枠、中庭のフロア部分にもウッドデッキを使っている。コンクリート打ち放しの校舎にも温かい木のぬくもりをという試みと思われるが、実際に入ってみると、その目的は十分達成されていると感じられた。

2002年から始まる新しい教育、そこでは地域住民の参加が大きな柱のひとつに考えられている。海浜打瀬小学校では打瀬小学校の伝統を受け継ぎ、住民参加のエリアを広くとっている。地域住民の参加は打瀬小学校成功の要因のひとつ。ハードウェアの部分でもこの伝統は守られている。

後はソフトを実践するスタッフ（先生方）の手腕にかかっているが、この面でも教育委員会は非常に配慮をしたようだ。去る3/28の新聞発表で既にご存じの方も多いと思われるが、校長には高浜第一小から星 忠男先生。そして教頭には、前打瀬小学校教頭の穴倉先生。また、打瀬小学校から三浦先生（教務）をはじめ何人かの先生が赴任されている。日本建築家学会賞とソニー賞の最優秀賞、いわばハードとソフトの両面で日本一の成功を取めた打瀬小学校の教育文化を継承しつつも、21世紀の新しい息吹をと苦心した跡が存分に感じられる。

新設の小学校では、開校前の準備は大変だ。教職員の人事が発表されたのは3/28。それまで先生方は公には準備を行えない。新しい学校でどんな教育をするか。夢は持ちつ



開校直前の海浜打瀬小学校で、偶然お二人の新校長にお会いできた。写真向かって左が海浜打瀬小学校長、星 忠男先生、右が打瀬小学校の新校長、岡本 利一先生。お二人は教育委員会でも一緒に仕事をされた旧知の仲。突然の取材申し込みにも、笑顔でお応えいただいた。4月の新学期を控え超ハードスケジュールを消化中なので、今回は写真撮影のみ。お二人のインタビューは来月号から順次。

つも、先生方は舞台となる学校をみることさえままならない。開校を直前に控えたある日、海浜打瀬小学校では初の職員会議が開かれていた。職員室の窓越しに見る先生

方の目は真剣だ。打瀬の子どもたち479人の夢をかなえるため、先生方のハードな日はつづく。

【松村】

## 海浜打瀬小学校に期待します

### ぴかぴかの一年生

「奇跡的だなあ。」自分の息子が、21世紀最初の新1年生として新設の小学校に入学することがわかった時、私は思わずつぶやきました。少子化や都市の成熟化のため、最近では小学校が開校する事は珍しいことになっています。そんなただでさえ珍しい新設小学校に、我が息子は運良く新1年生として入学するのです。ピカピカの小学校にピカピカの1年生。考えただけで楽しくなります。

新設校ならではの不便もあるでしょう。無い物やわからないことだらけ、校庭は石ころだらけかも知れません。最も大変なのは伝統がない事でしょう。何をやるにも前例が無く、自分たちで創造していかねばなりません。でもそれは楽しいこと。学校の伝統を作り上げていく過程は、新しい校舎にも勝る魅力でしょう。そんな創造性が一番発揮できる時に、子どもたちがどんな活躍をするのか、私は見守り続けたいと思います。そして10年後、20年後には、確固たる歴史を持った輝く小学校になっていて欲しいと思います。

そして百年後。開校百周年記念式典に106歳になった息子が特別来賓として招か

れる第2の奇跡を、私は密かに願うのであります。

公園西の街 原田 良信

『海浜打瀬小学校』開校おめでとうございませう。開校に携わった皆さま、ありがとうございました。また、新しい小学校に赴任される先生方、よろしくお願い致します。

私は『海浜打瀬小』に「先生も生徒も心にゆとりのある学校作り」を希望します。（1年半の打瀬小体験を振り返り…学校ってこんなに忙しかった?）

体験学習を通じて新しい学校教育のあり方を模索する姿には共感を覚えますし、実を結んでいるのも事実ですが、イベントの実施、来客者の対応等その準備に追われ、学校全体が常に慌ただしくスケジュールをこなしている様に感じます。

子どもは新しい経験や楽しい事が大好きです。でも前のイベントで体験した事を噛み締める間もなく次のイベントに関心を持つ様子は、まるで新しいゲームが出る度に飛び付く子どもの姿とダブって見えてしまい、過去に経験したものがどこまで心に残っているのか疑問に思います。今の子ども達は、塾だの習い事だのと忙しい生活を送っています。せめて学校だけでも、確実に一つ一つ実を結ぶ、ゆとりのある教育をお願いできればと思います。

学校が評価されるには長い年月がかかると思います。先生も生徒も、焦らず、欲張らず、一歩ずつ踏み締めながら夢を育てて進んで欲しいと願っています。

公園東の街 清水 将雄

### 新しい小学校に期待 打瀬小と一緒に

私は、海浜打瀬小に行く五年生。海浜打瀬小に行くと、六年生。最高学年になる。私は新しい学校に期待でいっぱい！学校の中はどうなっているのか。どんな先生がいるのか。どんな人がいるのだろうか。同級生のだれと同じクラスになるか。そのほかにもいろいろな期待と、ほんのすこしの不安がある。

私は打瀬小にいる友達とも会いたい。放課後に会えるが、学校にいるときにも会いたい。むりなことを言っているかもしれないが、ひと月に一度、できたら半月に一度でも会いたい。二つの学校が共同で、会う時間を作って、一緒に勉強したり、遊んだり、ご飯を食べたりしたい。そんな希望も持っている。でも海浜打瀬小はきっといい学校だと思う。新しい校舎と、いい先生たちが私たちにむかえてくれると思う。

公園東の街 石岡 和紗

なんでも調査隊

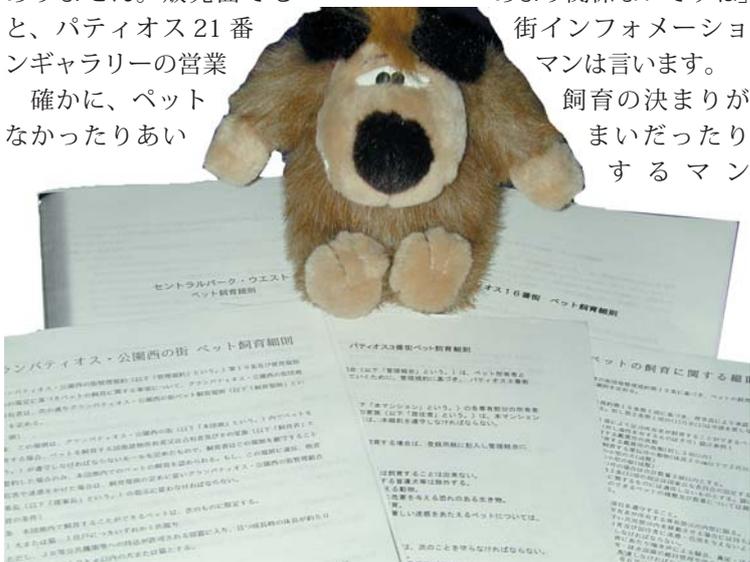
# ベイタウンのペット事情

「私は平成8年からベイタウンに住んでいます。ここ数年、私の住むマンションではペットを飼っている人が増え、エレベーターの中で吠えられたけれど、飼い主は涼しい顔で犬をたしなめるでもないとか、部屋の前を通るだけで中からワンワン吠えたりする犬、家人の留守中、中庭に吠えたりして周りの住人が迷惑しているのにお構いなしとか、勿論中庭に糞がそのままになっていたり等々で、どうしてペットがこんなに増えたのだろうと、疑問に思っています。(中略)他のマンションではどうなっているのでしょうか。新しいルールのもとで飼っているのか、他のマンションのペット事情を知りたく、是非取り上げていただきたくペンを取りました」(匿名希望)

まずは右の表を見てください。ペットの飼育を管理組合の決まりでどう取り扱っているか、をまとめたものです。公園東の街や公園西の街ができるまではどこも、イヌやネコを飼うことはできないか、飼っていいともだめともとれるような決まりでした。供給したデベロッパーごとに取り扱いは分かれていて、三菱地所グループの1・10番街はともに「禁止」、清水建設グループの6・8・18番街も同じく「禁止」になっています。三井不動産グループの3・11番街はユニークで、もともとはペット飼育のことにふれていません。

一変したのは、ここ1、2年です。散歩するイヌを最近よく見かけられるようになったなあと思ったら、やっぱり、でした。表に示したように、公園東の街のあとにできたマンションはどこもペットを飼える決まりです。それも、ごく自然にサラッと飼えるようにしています。「あいまいな決まりはトラブルのもとになるので、はっきりさせることにしています。でも、ペット可を売り物にしているわけでは

ありません。販売面でもあまり関係ないですね」と、パティオス21番街インフォメーションマンは言います。確かに、ペット飼育の決まりがなかったりあい



●飼育禁止かあいまいだったのが、最近は飼育可能に

1番街	×
2番街	△
3番街	なし→○ 97年度細則作成
4番街	△
5番街	△
6番街	×
8番街	×
10番街	×
11番街	なし
12番街	△
16番街	△→○ 99年度細則作成
17番街	△
18番街	×
公園東の街	○
公園西の街	○
セントラルパーク	○
21番街(建設中)	○

※○はペットの飼育を認める決まりをもつところ、△は飼育を禁止する決まりがあるものの、対象にイヌやネコが入るのかははっきりしないところ、×は飼育を禁止する決まりをもつところ。「なし」はペット飼育に関する決まりそのものをもっていないところ。

ションで、ペット飼育に関する細かな決まり(ペット飼育細則)を新しくつくる例がみられます。古くは3番街。1998年4月の定期総会で飼育細則を新しく組み入れました。

3番街で管理組合の理事としてペット飼育細則の原案づくりにあたった堀悦子さんは振り返ります。

「ネコがほかの家で悪さするとか中庭でおしっこするとか、イヌにじゃれつかれてこわいとか、苦情が出るようになったので、ペット専門部会を組織して、ほかのマンションの飼育細則をたたき台に原案をつくることになりました。当時の理事長の理解が得られたのは大きかったですね。ほかのマンションのお手本になるうとの心意気もありました」

12番街では昨年10月、ペット飼育への苦情が聞こえてきたことから、理事会として対応を早急にまとめようとアンケート調査を実施しました。「あなたは何らかの『ペット飼育のためのルール』作成が必要だと思いますか」との問い掛けに、「はい」と答えたのは49人、「いいえ」と答えたのは1人、「その他」を選んだのは2人という結果でした。ただ、ペット飼育細則の案づくりにまでは至らなかったため、「来期への申し送り事項と考えています」(管理組合理事長)。

分譲マンションという居住スタイルを選んだ以上、「みんなで集まって住む」のが基本です。いきおい、そこにはルールが必要になります。互いに相手を認めたくうえで、心地よく住み続けるにはどうしたらいいか—そうした視座に立って、だれもが納得できる進め方で新しいルールをつくることができるか否か、管理組合の健全さが試されているようです。【茂木】

細則のあらまし
(1) 飼育できる大きさ
(2) 共用部分を通るとき

公園東の街
(1) 体高30cm以下
(2) 容器に入れる

セントラルパーク・ウエスト
(1) 全長70cm・体重10kg以内※
(2) 容器に入れる。イヌはリードを付けて抱くか(小型犬)、リードを強く引き寄せて歩行させる(中型犬)こともできる
※A棟ではこれを超える大きさのものも飼育できる

●飼育細則ではペットの「大きさ」などを決めている

細則の内容は管理組合によって若干違います。ただ基本になる部分は共通で、飼えるペットの大きさや、飼うときの手続き、守らなければいけないことなどを決めています。セントラルパーク・ウエストや16番街の細則では、同じマンション内でペットを飼う人たちが集まってグループを作り、ペットと共生していくのに努めるよう義務付けています。セントラルのグループは会費制で、会費の一部は共用部分の清掃費用にあてるように決めています。

3番街
(1) 体長50cm以内
(2) 抱きかかえる

公園西の街
(1) 体長50cm・体重10kg以内
(2) 容器に入れるか、抱きかかえる

16番街
(1) 全長70cm・体重10kg以内
(2) 容器に入れる。イヌはリードを付けて抱くか、リードを強く引き寄せて歩行させることもできる

## アジア経済研究所図書館

99年12月、ベイトウン隣接地に「日本貿易振興会アジア経済研究所」、通称「アジア研」がやってきた。いかめしい名前からは何となく難しいイメージが先行してしまうが、「アジア研」は元々通産省（現在の経済産業省）の傘下研究所として設立され、NHKなどと同じような性格を持つ特殊法人である。名前には「アジア」と付いているが、実際には開発途上国全般を研究の対象としており、アカデミックな研究だけではなく、途上国向けの研修、講演会、出版事業など研究成果を普及させる活動にも熱心に取り組んでいる。講演会の開催予定はアジア研のホームページ (<http://www.ide.go.jp>) 上で見る事が出来る。主として専門的な内容ではあるが、地域住民を意識した入門編的な内容のものもある。

ベイトウンの住民としてアジア研を身近に利用でき、最も魅力を感じる施設は、51万冊もの蔵書を誇る専門図書館の存在ではなからうか！この図書館、専門図書館なので公共図書館のように気軽なところではないが、諸外国や日本で出版されている開発途上国関連の経済や統計資料の原書・翻訳本をはじめ、各国で発行される新聞や雑誌も充実しており、途上国問題に関心がある人にとってはとても貴重な場所である。

しかし、あえて辛口の評価をすれば、様々な面で非常に素晴らしい施設なのに少々利用づらい。開館日は平日の10:00~17:30に限定され、利用は18歳以上。更に図書の館外貸出も不可となっている。国立の図書館などで一般的に適用されている規則と同じだが、専門図書館であるだけに仕方ないものだろうか？ 蔵書が専門書であるだけに貸出ができないと、その場で読むには辛いものがある。



貸出を不可としている理由を尋ねたところ、「本館にしかない貴重な蔵書もあるのと複本を購入していないので・・・」という返事が返ってきた。素人考えながら、「だったらその本だけ貸し出し禁止にすれば良いのに！」と単純に思ってしまった。とはいえ、閲覧席も十分にあるので、一日じっく

りと資料を渉猟してみるのもいいかもしれない。図書館の休日開館（せめて土曜日だけでも）に関しては、人員や施設維持にかかわる予算上の問題でいまのところ難しいとの事。

図書館の中に一步入ると非常に素晴らしい環境が整っている。使いやすい検索システムに加え、車椅子にも配慮した広い書架間隔、ゆったりした椅子、図書を探しやすい配置とあらゆるところに気配りが行き届いている。館内蔵書の検索は図書館のホームページ (<http://opac.ide.go.jp>) で可能なので、来館前に本を調べておくこともできる。館内にも10台以上のパソコンが設置され同じ検索システムが使えるようになっており、もちろん検索カードも充実しているのでスピーディな検索が可能である。

しかし、現在アジア研図書館の利用者は、学生・大学院生・大学の教官が7割を占め、残り一般企業の調査部門の担当者などが利用しており、近隣住民にはほとんど利用されていない。これ程身近で立派な施設を地域住民が利用していないのは実に残念な話であり、アジア研側も地域住民の施設の活用を望んでいる。そこでベイトウンニュースとしては、身近なアジア研をもっと使いやすくする為、まずは一度来館してみることをお勧めしたい。そしてアジア研のE-Mail: [info@ide.go.jp](mailto:info@ide.go.jp) に意見をどんどん出していくことを提案したい。 【金】

### ベイトウン お店物語 3 ジャイネパール (5番街)

お店に入ると美しいサリー姿と温かな笑顔で迎えてくれるネパール人女性。打瀬小の子どもたち料理を教えに行ったり、街に住む外国人と日本人さんに呼びかけて「インターナショナル・タイム」(毎週水曜日午後4~6時)という誰でも参加出来る出会いの場を作るなど、持ち前の魅力でベイトウン住民の交流に役買っているセティマヤさんです。

長野県上田市に留学していたセティマヤさんと知り合い、まだ学生だった玉置順さんがご両親の住む標高3,440メートルのヒマラヤの村まで、馬に乗ってセティマヤさんを迎えに行ったのが今から15年前。7年間都内のネパールレストランに勤めた後、独立。念願の二人の店をどこにオープンさせるか、半年間迷った末、知り合いのアメリカ人に「こんなオシャレな街があるよ」と紹介されたのがベイトウンでした。

海があり、若者が集まるリゾート性を備え、駅周辺に業務地区を控え...といった人を呼べる条件を満たし、なおかつ打瀬小の子どもたちの顔がイキイキとしていて他と違って、「この子どもたちが大きくなったら素晴らしい街になる」とその将来性に希望を託した決断でした。

まだ人も店舗も少なく淋しかったこの街にお店をオープンさせて今年で3年目。バターを使うインド料理と違い植物性油を使う油っこくない、低カロリーで健康にいいネパール料理(セティマヤさん曰く「元気料理」と、スパイスをあまり使わない中華料理に似たチベット料理が評判を呼び、7割以上が噂を聞きつけて外から訪れるお客さんです。「お腹を一杯にしてもらっただけでなく、民族衣装や音楽、旅行といった情報を発信してネパールを肌で感じて帰っていただきたい」という順さんの言葉どおり、ネパール人の店員さんとの会話、サリーパーティやネパールからミュージシャンを招いてのイベントなど、「心も一杯」になるような楽しさが常に用意されています。

### ■ジャイネパールカレーパン

今や名物となったのが「ジャイネパールカレーパン」。たまたま後輩の友だちだった「レイジー・アフタヌーン」の伊島さん(前回の号で紹介)の相談にのっていた関係から、パンのプロとカレーのプロが「日本一おいしいカレーパンを作ろう」と意気投合して完成させたものです。カレーにとろみを付けながらもネパールカレーのおいしさをそのままに生かすために何度も作り直し、よくここを利用している「ベイトウン中年バンド」の人たちにも試食してもらい意見を取り入れながら作り上げました。材料の野菜も「ヤンマー」(5番街)から、まさにベイトウンオリジナルの記念すべきカレーパンです。

#### ◆プロの技「教えて！」

おいしいリーフティーのいれ方  
用意するもの / ティーポット、カップ、リーフティー

1. 汲みたての新鮮な水を沸騰させる (5円玉くらいの泡がポコポコ出ている状態)。
2. ポットとカップにお湯を入れて温める (ポットは必ず温める)。
3. ポットに茶葉を入れる (細かい茶葉ならティースプーン軽く一杯、大きめ

4. 沸騰したお湯をポットに注ぐ (温度が下がっているお湯ではダメ)。
5. ポットに蓋をして一定時間蒸らす (3分程度)。この間茶葉が上下に揺れるジャンピングが起こり、これが美味しさの決め手となる。茶葉の大きさ、ストレートやミルクティーか、またお好みで時間調整する。
6. 茶こしを使って、各カップの紅茶の色が均一になるよう廻し注ぐ。最後の一滴の「ゴールデン・ドロップ」まで注ぎきる。

アドバイス: 紅茶の個性はいろいろ、基本的な方法でいれてみると自分の気に入った濃さや飲み方がみつかります。

★今月からティーコーディネーターを招いて「お茶を楽しむ時間」を企画中。詳しくは下記までお問い合わせください。

Tel.043-213-1192 <http://www.tk.xaxon.ne.jp/~namcheca/>



## コミュニティ・コア、いよいよ着工へ、来年3月オープン

コミュニティ・コアの建設工事が、4月中旬から本格化します。構想10年、投資額10億円。公民館、図書館（分館）、子どもルームが併設された独創的な文化活動の拠点です。にぎやかな開館記念イベントとともに、来年3月、デビューします。

コミュニティ・コアの建設用地は、ベイタウンの中心部。工事用フェンスに打瀬小生徒の作品が展示され、お気づきの方も多いでしょ。

### ●「バブル」からの再生

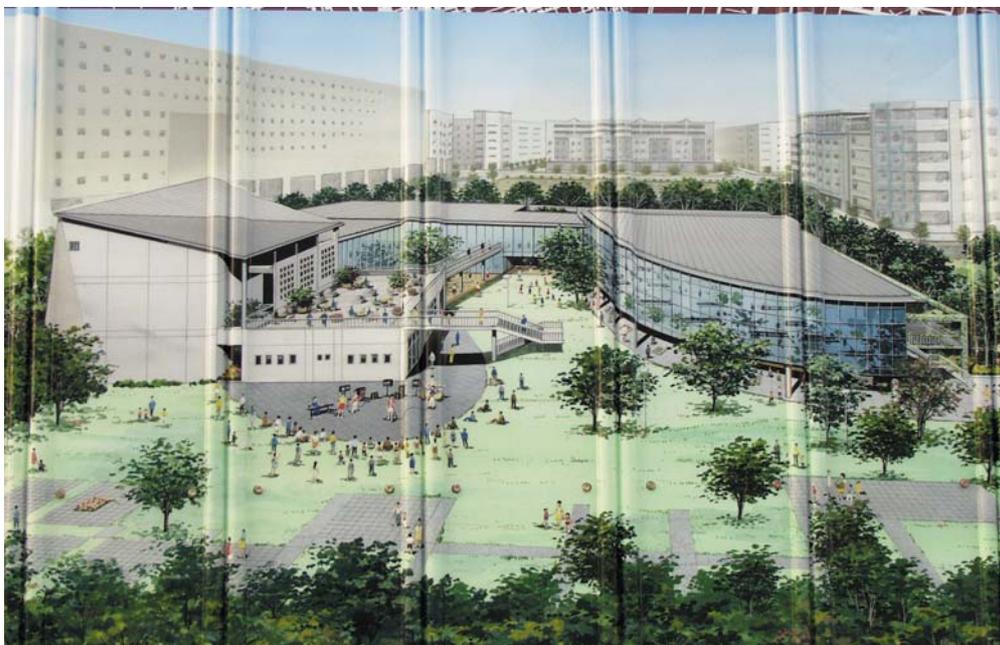
10年前、コアの当初計画は「ホテルや美術館も併設」といった過大なものでした。これが「バブルの崩壊」によって挫折すると、「公民館を中心にした市の施設」に大幅縮小されました。

しかし、ベイタウン住民や企業庁、千葉市担当者の努力もあって、じわじわと再転換。結局、「小さくてもキラリと光る施設」「音響重視のホール」「住民参加の運営」といった理念で貫かれたユニークな複合施設として建設することで合意しました。

### ●ユニークな複合施設

2階建てのコアは、建物面積約2000m<sup>2</sup>で、新鮮な作風で知られる建築家・高谷時彦さん（東京）のデザイン。1階には▼公民館（会議室2、調理室、和室、クラフトルーム、ミニギャラリー）▼多目的ホール（200人収容）▼子どもルームなどが配置されます。

図書館（分館）は、静かな2階部分。向かいにあるテラスでは借りた本の緑陰読書も楽しめます。中庭にはミニコンサートもできるステージもあり、楽しい空間演出が



試みられています。

### ●建設会社も決まる

3月中旬の入札で、新日本建設（本社・千葉市）がコアの建設に当たることが決まりました。同社は現在、パル・プラザ近くに新本社ビルを建設中。金綱一男社長もベイタウンの新居に転居予定とかで、「幕張」への愛着が感じられます。

来年度予算の編成で、千葉市も意欲を見せてくれました。これまで入手した情報では、2001年度の図書購入費は、前年度分を合わせると1億円を突破。コア開館行事用に200万円、公民館・ホールの備品調達に1100万円が計上されました。

### ●ピアノ購入で募金活動

コアのホール建設には、サントリーホールの音響設計を行った永田音響（東京）も参画。200人収容の多目的ホールとして、優れた音響効果を志向しています。

「コアのホールにふさわしいピアノを」という募金活動を展開中です。立派なホールに貧弱なピアノというミスマッチは、避けなければなりません。地元在住の音楽家によるバイオリンコンサート、3歳児から60歳まで出演したピアノ発表会など、ベイタウンらしい取り組みも進んでいます。

6月に行われる千葉市長選挙の立候補予定者が、ベイタウンの文化振興にどのような構想をお持ちか？ 近く「公開質問状」を送り、御意見を聞く予定です。

### ●みんなの力でコア建設

コア開館まで、あと1年を切りました。コアの愛称も公募されることになっています。4月中旬以降、企業庁主催で「コアの建設工事」説明会（日時、場所未定）が開かれます。多くの住民の皆さんに参加いただければ幸いです。

## 公共駐車場建設延期について

千葉県企業庁は公共駐車場（3カ所）の来年度建設を見送ると同時に、千葉市からの要望により11番街横に20台の無料駐車スペースを、建設中のコミュニティコアのための駐車場として開設することを決めた。これは去る2月に行われた自治会連合会との定期的な情報交換の場で、連合会に対し情報として明らかにされた。

公共駐車場は、悪化するベイタウンの駐車状況を緩和するため、企業庁に対し住民が早期の整備を求めていたものであり、企業庁はベイタウン内の3カ所の早期整備を検討していた。

公共駐車場の問題は交通問題であると同時に、コミュニティコアの建設とも深く関連している。現在建設中のコミュニティコア（第一期）は、千葉県企業庁と千葉市、そしてベイタウン住民が公式に協議を重ね、内容を検討したものであるが、この協議の過程で住民側は、現在運用中であるコア建設予定地横の公共駐車場（仮）を早期に移転し、別の場所に公共駐車場として整備することを強く要望していた。これに対し企業庁は平成13年度予算の獲得を努力し、コミュニティコアの開館時に現在の駐車場を「芝生の空き地」として整備することを努力目標として約束した経緯がある。コミュニティコアの開館に合わせるには工事を平成13年度内に行う必要があり、来年度予算での獲得が条件となる。今回の延期は予算獲得ができなかったというのが理由だ。

来年度の駐車場の移設は努力目標であり、確約されたものではない。しかし決定と伝達のプロセスには大きな問題が残る。まず、住

民要望事項であった駐車場移転が、予算が理由で延期とされたにも拘わらず、その後千葉市の要望により無料駐車場が実現されたのはなぜか。駐車場ができることに異論を唱えるものではないが、住民要望で駄目なものが千葉市の要求ではすんなり通ったような印象があり、強く要望していた住民側としては釈然としない。

第二に、この決定は自治会連合会との定期的な情報交換の場で明らかにされ、住民に対して公式に説明されていない。住民とのコア検討会で公式に表明された目標が達成できなかったという事の重大性から考えれば、連合会との情報交換会で伝達したから済むという性質のものではないだろう。

仮にこのような重要事項を、定期的な情報交換の場で明らかにしたことで、住民への情報公開ができたと考えるなら、この情報交換の場の性格自体も問題とされるべきである。現在、企業庁と住民との定期的な会合はこの情報交換会のみであり、住民と企業庁との対等の「問題協議」の場は全くない。この定期会合が企業庁側に都合のよい場として利用されているなら、自治会連合会でも企業庁との定期協議の方法について考えるべきであろう。

幕張ベイタウンは初期の開発の時期から、育てる時期へと変化し、企業庁でもこれまでの開発中心から管理中心へと比重を移している。そのこと自体に問題はないが、今回の決定とその伝達のプロセスを見ると、過去の開発当時よりも住民意識に対して認識が薄いように感じられる。交通問題、富士見通りの貫通問題、運動公園、千葉市への移管、今後の開発地での商業問題など、困難な局面はまだまだ続く。住民の意識を肌で感じながらの管理を望む。

【松村】

## 土地の有効利用推進と良好な市街地の整備

ベルマージュ堺（大阪府堺市）

公団では、工場跡地などの大規模な土地利用転換を図り、従来住宅を中心とした開発には適していなかったエリアを、新たな息吹を感じさせる街へと変換する試みを各地で行っています。

ここに紹介するベルマージュ堺は、大阪府堺市都市部の東端に位置しています。

ここでは、大阪刑務所及び官舎の老朽化による建替えを契機として、土地の有効高度利用による余剰地の創出と、隣接する既存公団住宅の土地所有者の建替え気運とがあいまって、一気に複合的な総合開発を進める方向に話が進みました。

結果として、都市居住更新事業による公営・公団住宅の合築や市街地再開発事業による良好な駅前複合住宅市街地の整備へと発展したのです。



賃貸住宅のお問い合わせは  
総合募集センター津田沼案内所  
TEL：047-478-3711  
公団住宅の駐車場のお問い合わせは  
日本総合住生活（株）千葉支店

## 都市公団

### 祝 シータワーオープン、祝 公園西の街5番館オープン

バイタウンニュースはみなさんの新聞です

ご入居おめでとうございます。みなさんを心から歓迎します。

新しい街に越してきて、ゆっくりくつろぐ土曜日の午後、見慣れぬ印刷物に驚かれたでしょう。私たちは幕張バイタウンニュース。皆さんと同じバイタウンに住む住民が手作りで発行する新聞です。

バイタウンニュースの創刊は4年前、「何もない新しい街で街作りに役立つ市民の新聞を」と数人の仲間が集まったのが発端です。創刊当初はガリ版刷りでも、という気持ちでしたが、幕張バイタウンにはカラー刷りの紙面がこそふさわしい、とのこだわりから、創刊以来毎月カラー印刷で毎月お届けしています。現在までの発刊数は47号。毎月一回の発行ですから、来月5月号で満4歳という勘定になります。発行部数は4,000部。幕張バイタウンの全戸に無料で配布しています。財源は幕張バイタウンの街作りと、バイタウンニュース発行の主旨に賛同していただける周辺の企業より、毎号広告費という形でご協力いただいています。

バイタウンニュースは新聞を作る編集部と、配布を行う「ニュースサポーター」の2つのグループの力で、発行・配布されています。ニュースサポーターはどなたでも参加できます。新聞の発行される

## 編

■海浜打瀬小、シータワーの夜景、ケヤキ並木など、また新しい風景がバイタウンに加わりました。なかでもケヤキ並木は、おしゃれなキッチンハウスもよく見えるようになり、新緑の季節にはのんびりと散歩がてらに買い物が楽しめる道になりそうです。お店紹介も今回で3軒めとなり、住民とは違った視点からのお話が聞け、非常に勉強になりました。バイタウンの街づくりの特色である「にぎわいのある街」を支える魅力的なお店をこれからも紹介していきたいと思えます。

タウンスケッチ記者：#3-310 佐藤則子（T&F211-0090）

■各マンションの管理規約をどこか一カ所で手に入れることはできないかなあ、とムシのいいことを考えていました。無理とわかって一度は断念しましたが、どうせならこの機会に、と多くのみなさんのご協力でなんとか集めることができました。ほんと、ありがとうございました。そういやかつて、管理組合のヨコの連絡の場がありましたが、どうしちゃったんでしょ。存在価値はありそうですが。

記者：#7-301 茂木俊輔（T&F211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp）

■ようこそ、新しい住民の皆さん!! 皆さんのご入居で、また街が賑わい、嬉しく存じます。ここで少し昔の話—今では信じられないかもしれませんが、私が越してきた1998年初夏（当時ミラリオ在住）自転車で駅前へ行く時に、プロムナードに全く人がいない—誰も通っていない事が何度かありました。「ここは模型の中か?」と思った程の静けさ!!（竿売りの人も、まだ来ていませんでした）時を移して2001年春、朝は通学の子どもたち、昼はお買い物に出かける親子連れ、夕方はペットを散歩させる人たち、夜は会社帰りのお父さんたち。プロムナードを通る人たちが“人への優しさ”“皆で暮らすマナー”を忘れず暮らして欲しいと思います。（+非常袋の点検も忘れずに!）

記者#公園東 浜田貴代子（atmark@pop01.odn.ne.jp）

■人事の季節、今年も何人かの先生方が打瀬を去り、懐かしい顔が戻っていらした中で感じたこと。打瀬小学校は、初代校長の時代から特色ある教育を目指し、「公立の学校」という器の中で型にはまらない考えを実践している姿が評価されてきたと思う。「ゆとりの教育」が一步間違えれば学力の低下に結びつきかねない状況の中、学校の自主性や創意を摘む「公平」という画一にならないで欲しいと応援したい。

企画：#3-220 金一剛（T&F211-0388/ikkim@xa2.so-net.ne.jp）

■今月号は海浜打瀬小学校を集中取材しました。取材の過程で打瀬小学校開校の際のことを比較材料として調べましたが、改めて当時の関係者の意気込みの凄さにおどろきました。校舎、教育内容ともに準備段階から常識を打ち破っていました。保守的と言われる千葉で、いかにしてこんなことが可能だったのでしょうか。バブルと言われ、歴史の汚点のように言われる時期ですが、時代のエネルギーは確実に存在していました。打瀬小学校開校秘話を切り口に調べてみたいテーマです。

技術:#10-612 松村守康（T&F211-6853/m-

毎月第1土曜日の午前中、情報交換をしながら折り込みや配布をしています。用のあるときや、気が乗らないときはサボるのも結構。新しい街で、仲間を見つけに来ませんか。お問い合わせは10番街 松村（TEL:211-6853/E-Mail:m-matz@mxq.mesh.ne.jp）、または上記編集後記に記載の各編集部員の連絡先まで。

## 3度目の春を迎えました。今年もよろしくお願 いいたします。

千葉市立打瀬中学校長 石原 通男

今年は例年になく、早い時期に桜が満開になりました。3月28日付け朝日新聞「天声人語」の冒頭は次のような書き出しでありました。

「がらっ八の八五郎なら、「親分、てへんだア」と、神田は明神下の平次の家に飛び込んでくるかもしれない。」「・・・江戸中の桜が、あっという間に満開になっちゃったア」

・・・一週間前にはつぼみが多かったのに、この三、四日でいっせいに花が開き、場所によっては盛りを迎えている。汗ばむような暖かさのせいで、桜前線は急に駆け足になった。ふだんの年より一週間から十日も早い・・・。

「こんなに早く桜が満開となってしまっは、今年の入学式は葉桜かな？」と心配しておりましたところ、31日の関東地方は上空に寒気が入り込み、県内全域で昼ごろからみぞれ混じりの大粒の雪となりました。気象庁の発表によると、「桜満開、ぼたん雪」は25年ぶりとのことでした。

4月1日から、平成13年度が始まりました。21世紀最初の年度です。この春の教職員定期異動につきましては、すでに新聞発表もなされましたが、私は、引き続き打瀬中学校の校長としてお世話になります。3年目を迎えました。力不足ではありますが、本年度もどうぞよろしくお願いたします。

今回の本校教職員（常勤）の定期異動は、転出者が1名、転入者は3名であります。創立以来6年間勤務いた

し、皆様に大変お世話になりました教務主任鈴木修教諭が木更津市立木更津第二中学校の教頭として転出いたしました。鈴木教諭は出身が木更津でありますので、地元へ戻る形の異動となりました。

また、非常勤職員として勤務いたしておりました「心の教室相談員」佐久間裕子と「図書館指導員」稲田聡子の2名は年度末をもって退職いたしました。平成13年度は、全校で学級数が1クラス増の9クラスとなり、3名の教員が新しくメンバーに加わりました。詳細は次号にてご紹介いたします。

教育改革の流れの中、完全学校週五日制と新学習指導要領による教育課程の完全実施も残すところあと一年となりました。本年度は移行期の最終年度を迎えております。

昨年度も、本校教育活動の展開にあたりましては、パティオスの会を初め、青少年育成委員会、補導員・相談員さん等、たくさんの保護者並びに地域の皆様方に様々な角度からご理解とご支援・ご協力をいただきました。

「総合的な学習の時間」の一つの柱であるA T講座の開講、国際交流の視点に立ったパティオスの会主催による語学体験学習「5分でアメリカ旅行」、青少年育成委員会による文化祭でのシニア体験コーナー、恒例となった本校生徒と地域の女性コーラス瀬音の皆様との合唱、ベイタウンにお住まいの方によるピアノ連弾や日本舞踊の披露等、この地域ならではの多種多様なイベントを開催できました。これも、ひとえに地域の皆様方の連携・協力をいただけたからこそ心から感謝申し上げる次第です。

本年度も、昨年度までの実践をもとに、今まで以上に保護者並びに地域の皆様のお力をいただきながら学校運営にあたってまいりたいと考えております。

## お世話になりました！ 打瀬中での6年間！！

木更津第2中学校 鈴木 修

海の向こうからイチローの開幕試合勝利の報が、そして我が愛する長嶋ジャイアンツにも“條辺”というニュー・ヒーローが誕生しました。新しい動きが目立つ4月の到来です。そういう私自身も、6年間お世話になった打瀬中から、木更津第2中学校への勤務を命ぜられ過日着任しました。

打瀬中での6年間は、多くの皆さんに支えられての毎日でした。PATIOSの会や育成委の皆さん、A.S.講座（当時）に協力いただいた講師の皆さん、・・・本当にありがとうございました。

学校での思い出は、今まで出会ったことのない解き方・考え方に会える喜び、これに尽きます。3年生8名での寺子屋的授業から、2クラス合同の沈黙の自習まで。2年生の証明で試みたMATHポスタ・セッションも各人各様の切り口があり、“初めての出会い”を多く体験できました。∠xの大きさを求めるのに、∠aを70°として考えたら・・・？これは、仮設的試行とでも言うべき問題解決の高級な手立てです。また、内接四角形の内対角の和が、三角形の中にぴったり収まるところから180°と納得したり、・・・打瀬中の生徒と勉強し合ったことは、絶対に忘れません！！



お世話になった皆様のご健康を、房総の中心地・木更津の空からお祈りしています。またお会いできる日を楽しみに、お別れの挨拶といたします。



卒業式から三週間。思い出を振り返る時間と新年度に期待をふくらませる時間のバランスが、少しずつ少しずつ変化していきます。この教育ベイタウンが発行される頃は、君たちは高校生となり、私も新しい生徒と出会い、お互いに忙しい毎日を送っているはずですが。過ぎ去った時間を振り返ることもなくなっていることでしょうか。出発、それは素晴らしいことだけれども、少々さみしいですね。しかし、君たちと過ごした美しい三年間が、胸の中から消え去ることはありません。君たちも、思い出を胸の奥底に大事にしまって、新しい生活をスタートさせてほしい。そして、いつの日か思い出いっぱいのお宝の小箱を、いっしょに開きましょう。さあ、君たちに「先生、年とったね。」と言われないように明日からまた頑張ろう！若い君たちにまだまだ負けませんよ。



#### 打瀬中学校 渡辺 冬花

この三年間、本当に短く感じられました。それは、生徒達が本校に入学してからの一日一日が、たいへん充実していたからだと思います。何事にも夢中で全力投球をする生徒達の姿に、いつしか自分も引っ張られ、時の経つのも忘れてしまったかのような感じでした。

人の一生の中で、この中学三年間という時期が、特に著しく心身ともに成長する時期であり、それだけに生徒たちの変わっていく頼もしい姿を見ることは、大きな喜びでもあります・・・と同時に、卒業してしまった後の寂しさも何とも言えません。早く新年度に向けて気持ちを切り替え、また新たなよいスタートが切れるように努力していこうと思っています。

### @Space

#### ソフトテニス部

千葉市中学生冬季選抜大会

東京電力千葉火力発電所千葉運動場

#### 男子選抜選手

三松・藤本組、戸ヶ崎・金城組

小川・木下組、法月・伊丹組

早野・小島組

準優勝：戸ヶ崎・金城組

第3位：小川・木下組

ベスト8：三松・藤本組、早野・小島組

#### 女子選抜選手

因幡・正橋組、橋本・庄司組

三木・三木組、山崎・蜂屋組

準優勝：因幡・正橋組

ベスト8：橋本・庄司組

男女計9チーム選抜は千葉市最多でした。各校の有力チームがそろい上位入賞できたことは、素晴らしいと思います。さらに Step Up を目指して下さい。